



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月31日

上場取引所 大

上場会社名 サノヤスホールディングス株式会社

コード番号 7022 URL <http://www.sanovas.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 孝

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長執行役員 (氏名) 森本 武彦

TEL 06-4803-6171

四半期報告書提出予定日 平成24年11月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	31,544	—	3,402	—	3,515	—	1,682	—
24年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 1,357百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	51.65	—
24年3月期第2四半期	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	67,926	16,676	23.2
24年3月期	73,170	15,482	20.0

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 15,787百万円 24年3月期 14,601百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	—	3,000	—	2,700	—	1,000	—	30.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名)
 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	32,600,000 株	24年3月期	32,600,000 株
25年3月期2Q	22,365 株	24年3月期	22,353 株
25年3月期2Q	32,577,636 株	24年3月期2Q	— 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当社は、現サノヤス・ライド(株)(旧(株)サノヤス・ヒシノ明昌)の単独株式移転により平成23年10月3日に設立されたため、前年同四半期実績及び前年同四半期比の記載をしておりません。
- ・業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	11
(5) セグメント情報等.....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	11
4. 補足情報.....	12
販売及び受注の状況.....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、当初は復興需要等により一部には緩やかな景気回復の兆しが見られたものの、欧州、中国を初め海外経済が減速傾向となり、輸出の落ち込みに加え円高も定着しました。更には国内外政治の不安定感も相俟って実体経済が悪影響を受けることが懸念される等、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く事業環境においても、造船事業では世界経済の減速と新造船の大量竣工に伴う海運市況の低迷から船腹需要は全般に亘って減少し、過剰な建造能力の存在も重なって新造船船価の下落を招く等厳しい状況となりました。陸上事業では一部復興需要もありましたが、民間設備投資が低水準で推移するとともに、レジャー事業においても遊園地入場者数は震災影響に加えて、海外からの観光客減少の影響により、厳しい状況が続きました。

このような状況下、当社グループでは新造船については、世界最高水準の省エネ性能を誇る82千重量トン型パナマックス・バルクキャリアーの営業活動に注力しております。加えて120千重量トン型ハンディケープの省エネ船開発の完了、市場ニーズに対応すべく新船型の開発と実海域における運行性能の向上に関する研究を促進しました。陸上事業及びレジャー事業においても顧客ニーズに即した新商品の開発と営業に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高31,544百万円、営業利益3,402百万円、経常利益3,515百万円、四半期純利益は1,682百万円となりました。

当社は、平成23年10月3日に単独株式移転により設立されたため、前年同期比較についての記載を行っておりません。

また、当社グループは受注産業の事業の特性から、四半期業績が年度業績に必ずしも連動いたしません。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①造船事業

上述のとおり船腹需給の不均衡に伴う新造船需要の急減と低船価となった厳しい新造船マーケット下において、燃費性能で差別化を果たした82千重量トン型パナマックス・バルクキャリアーを主体に営業に努め有力案件の商談を進めましたが、契約が10月以降に繰延となり第2四半期連結会計期間末までの新規受注には至りませんでした。その結果、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は約2年半分の65,283百万円となりました。新造船の引渡しは5隻であり、修繕船等を加えた当該部門の売上高は23,918百万円となりました。営業利益は、鋼材をはじめとする資機材価格の引下げと生産性向上に努めた結果、3,483百万円となりました。

②陸上事業

建設工事用機械製造・レンタル、機械式駐車装置製造・保守、機械部品製造、化粧品製造用機械製造、自動車部品製造、空調・給排水・環境工事の陸上事業においては、厳しい国内設備投資環境において顧客ニーズに即した受注活動を行い、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は1,939百万円となりました。売上高は5,327百万円、営業利益は545百万円となりました。

③レジャー事業

遊園機械製造及び遊園地運営等を行うレジャー事業においても、顧客ニーズに即した受注活動を行い、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は293百万円となりました。売上高は2,151百万円、損益面は各種合理化に努めましたが、豪州観覧車の保証工事引当金721百万円を追加計上したこと等から、367百万円の営業損失となりました。

④その他の事業

ソフトウェア開発等を行うその他の事業においては、厳しいシステム投資環境においても受注活動に努め、当第2四半期連結会計期間末の受注残高は71百万円となりました。売上高は147百万円、損益面は3百万円の営業損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて4,672百万円減少し、45,089百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が2,586百万円、現金及び預金が1,319百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて572百万円減少し、22,836百万円となりました。これは主に、投資有価証券が621百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて6,692百万円減少し、31,660百万円となりました。これは主に、前受金が3,137百万円、支払手形及び買掛金が2,062百万円、未払法人税等が890百万円、保証工事引当金が373百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて254百万円増加し、19,589百万円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,194百万円増加し、16,676百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1,898百万円増加しましたが、資本剰余金が378百万円、その他有価証券評価差額金が334百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べ1,519百万円減少し、22,488百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、389百万円の支出となりました。主な増加は、税金等調整前四半期純利益3,365百万円、売上債権の減少2,555百万円、未収消費税等の減少778百万円であり、一方主な減少は、仕入債務の減少2,712百万円、前受金の減少3,137百万円、法人税等の支払額2,520百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,100百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出684百万円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、13百万円の支出となりました。これは主に、短期・長期借入金の借入・返済による純収入が166百万円あったものの、配当金の支払額162百万円、社債の償還による支出15百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績につきましては、現下の造船市況を踏まえ今後の受注は低船価が見込まれることから変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ10百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,431	24,112
受取手形及び売掛金	19,268	16,681
商品及び製品	181	187
仕掛品	1,617	1,321
原材料及び貯蔵品	563	547
繰延税金資産	1,044	913
その他	1,862	1,343
貸倒引当金	△206	△19
流動資産合計	49,761	45,089
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置(純額)	4,116	3,994
土地	5,082	5,065
その他(純額)	7,821	7,750
有形固定資産合計	17,020	16,810
無形固定資産		
ソフトウェア	645	589
その他	48	48
無形固定資産合計	693	638
投資その他の資産		
投資有価証券	3,813	3,192
長期貸付金	130	110
繰延税金資産	837	1,147
その他	1,135	1,193
貸倒引当金	△223	△255
投資その他の資産合計	5,694	5,388
固定資産合計	23,408	22,836
資産合計	73,170	67,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,245	12,182
短期借入金	3,951	4,168
未払法人税等	2,535	1,644
前受金	11,437	8,299
賞与引当金	395	390
保証工事引当金	2,604	2,231
受注工事損失引当金	1,439	1,463
固定資産撤去費用引当金	276	216
その他	1,468	1,063
流動負債合計	38,353	31,660
固定負債		
社債	60	45
長期借入金	12,991	12,940
退職給付引当金	4,253	4,246
役員退職慰労引当金	82	84
資産除去債務	531	553
繰延税金負債	1,266	1,278
負ののれん	79	68
その他	70	371
固定負債合計	19,334	19,589
負債合計	57,688	51,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,538	2,538
資本剰余金	1,106	727
利益剰余金	10,356	12,255
自己株式	△5	△5
株主資本合計	13,995	15,515
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	606	271
その他の包括利益累計額合計	606	271
少数株主持分	880	889
純資産合計	15,482	16,676
負債純資産合計	73,170	67,926

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	31,544
売上原価	26,058
売上総利益	5,485
販売費及び一般管理費	2,082
営業利益	3,402
営業外収益	
受取利息	5
受取配当金	35
貸倒引当金戻入額	156
未払事業所税戻入益	58
その他	66
営業外収益合計	322
営業外費用	
支払利息	163
その他	46
営業外費用合計	209
経常利益	3,515
特別利益	
固定資産売却益	4
特別利益合計	4
特別損失	
投資有価証券評価損	121
減損損失	16
固定資産除却損	14
その他	1
特別損失合計	153
税金等調整前四半期純利益	3,365
法人税、住民税及び事業税	1,662
法人税等調整額	9
法人税等合計	1,672
少数株主損益調整前四半期純利益	1,693
少数株主利益	10
四半期純利益	1,682

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,693
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△335
その他の包括利益合計	△335
四半期包括利益	1,357
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	1,348
少数株主に係る四半期包括利益	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	3,365
減価償却費	1,116
減損損失	16
負ののれん償却額	△10
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△154
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4
保証工事引当金の増減額 (△は減少)	△373
受注工事損失引当金の増減額 (△は減少)	23
受取利息及び受取配当金	△40
支払利息	163
為替差損益 (△は益)	15
持分法適用会社への未実現利益調整額	418
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4
有形固定資産除却損	14
投資有価証券評価損益 (△は益)	121
売上債権の増減額 (△は増加)	2,555
たな卸資産の増減額 (△は増加)	304
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,712
前受金の増減額 (△は減少)	△3,137
未収消費税等の増減額 (△は増加)	778
その他	△191
小計	2,255
利息及び配当金の受取額	40
利息の支払額	△165
法人税等の支払額	△2,520
営業活動によるキャッシュ・フロー	△389
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△622
定期預金の払戻による収入	422
有形固定資産の取得による支出	△684
有形固定資産の売却による収入	10
投資有価証券の取得による支出	△13
貸付けによる支出	△130
貸付金の回収による収入	22
その他	△104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,100

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	63
長期借入れによる収入	1,050
長期借入金の返済による支出	△947
社債の償還による支出	△15
自己株式の取得による支出	△0
配当金の支払額	△162
その他	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△13
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,519
現金及び現金同等物の期首残高	24,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,488

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他の事業 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注3)
	造船事業	陸上事業	レジャー 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,918	5,327	2,151	31,396	147	31,544	—	31,544
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	9	2	18	101	119	△119	—
計	23,925	5,336	2,153	31,415	248	31,663	△119	31,544
セグメント利益又は損失(△)	3,483	545	△367	3,661	△3	3,657	△255	3,402

- (注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントには含まれていない事業セグメントであり、ソフトウェア開発を含んでおります。
- 2 調整額は、以下のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額255百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用259百万円、貸倒引当金の調整額△1百万円及びセグメント間取引消去△3百万円であります。
全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

当社は平成24年6月26日開催の定時株主総会決議に基づき、繰越利益剰余金の欠損填補を目的として、その他資本剰余金を減少させ、繰越利益剰余金に振替えております。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が215百万円減少し、利益剰余金が同額増加しております。

4. 補足情報

【販売及び受注の状況】

セグメント別売上高

セグメント	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
	金額(百万円)	構成比(%)
造船事業	23,918	75.8
陸上事業	5,327	16.9
レジャー事業	2,151	6.8
その他の事業	147	0.5
合計	31,544	100.0

受注状況ならびに受注残高

セグメント	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)
造船事業	1,683	65,283
陸上事業	2,507	1,939
レジャー事業	251	293
その他の事業	175	71
合計	4,618	67,588

(注) 当第2四半期連結会計期間末の造船事業における新造船の受注残高金額は工事進行基準で記載しており、受注残高隻数は、引渡しベースで20隻であります。